

「不存在」としていたメールが存在

疑惑まみれカジノやめよ

大阪市議会建設港湾委 井上議員が追及

6日の大阪市議会建設

港湾委員会で、日本共産

党の井上浩議員が、カジノ

を核とする統合型リゾート

(IR)用地の鑑定評価

に関わる不適切な公文

書管理問題について質問

しました。

大阪湾の埋め立て地、

夢洲のIR用地の鑑定評

価を巡っては、賃料を算

定した不動産鑑定業者4

社のうち3社の鑑定結果

が一致していたほ

か、IRを誘致するのに

質問する井上氏 6日、大阪市議会建設

港湾委員会



日、198通のメールが

存在することが、ことし

4月に判明したと発表。

うち鑑定業者とのやり取

りは129通です。

大阪市の指示で

IR考慮外に?

井上氏は、日本共産党

大阪市議団の記者会見

(ことし3月14日)で、

答弁を繰り返しました。

井上氏は、「IR考慮

外」としてショッピング

モールを前提に鑑定評価

したことは、土地の価値

を最大限に引き出す「最

有効使用」の原則に反し

ているとし、鑑定をやり

直すべきだと求めまし

た。

非公開情報を盾

に答弁しない市

井上氏は、昨年11月5

日に市が実施した不動産

鑑定士へのヒアリング

は、鑑定業者4社のうち

3社の鑑定評価額が一致

したことなどについて意

見を聞いたものだとし、

た。

大阪港湾局は「事業者

との交渉に影響を及ぼす

など非公開情報であり、

答えられない」と答弁し

ました。

井上氏は「4社が独自

に主体性を持って判断し

たのなら、なぜ別の鑑定

士にアドバイスを求める

のか。疑惑は深まる一方

だ。疑惑まみれのカジノ

・IRは、きっぱりやめ

るべきだ」と主張しまし

た。

(2023年7月16日付大阪民主新報)